

幼稚園だより

令和4年6月30日

墨田区立八広幼稚園

園長 金澤 里美

—7月号—



育てて、触れて、みんなで食べる

園長 金澤 里美

梅雨が明け、気温の高い日が続いています。強い日差しの中、園で育てている野菜やバケツ稲もぐんぐん育っています。うさぎ組さんは、個人鉢で自分のミニトマトを育てており、水やりの際には、「僕のトマト、赤くなってる！」「うわー、3個もできてよ」と嬉しそうな声が聞かれます。先日、全員が1個ずつ収穫できた日に、とれたてをみんなで一緒に食べました。本当はちょっと苦手な子もいるのですが、みんなと食べる機会を通して、「一口食べてみようかな」という気持ちが出てくるようです。「おいしい」「甘い」と、味わい、翌日からまたミニトマトの生長に関心を寄せているうさぎ組の子供たちです。

また、6月中旬のカレーパーティーでは、ぞう組さんが自分たちで育てたジャガイモ、ミニ人参(直径1cmくらいでした…)を包丁で切る経験をしました。初めての経験に苦労する姿もありましたが、「ジャガイモ、上手に切れた」「人参、ちっちゃ！」と言いながら取り組み、とても誇らしげにしていました。自分たちで作ったカレーは特別に美味しいと、何度もおかわりをし、お腹がいっぱいになるまで食べていました。昨年までは感染症対策として収穫した野菜もすべて持ち帰っていたので、今年また、園で食べることを再開でき、嬉しく思います。育てていく過程もよく見ているぞう組さん。これからもナス、ピーマン、キュウリ、オクラ、インゲン…と収穫が続くので、その時に子供たちがどのように話題にしたり、経験を広げたりしていくのか、とても楽しみです。ぞう組さんも、苦手な野菜に挑戦中の子が多いようですので、野菜大好きになれるといいなと思っています！

6月は、「親子ふれあい会」もあり、保護者の方にご参加、ご参観いただきました。当日の感想もたくさんお寄せいただきありがとうございます。7月の保育日数は12日ですが、充実した日々を過ごし、夏休みを迎えられるようにしていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

【7月のねらい】



うさぎ組

- 水遊びの約束が分かり守って遊び、水に親しみをもつ。
- 皆で一緒に遊ぶことを楽しみながら自分の思いを言葉や動きで出す。
- 夏休みの過ごし方を知り、自分でできることは自分で行おうとする。

ぞう組

- 水遊びやチャレンジタイムなど、自分なりのめあてをもって繰り返し取り組むことを楽しむ。
- 互いの思いの違いが分かり、自分の考えを伝えたり相手を受け入れたりする。